

りを行い、模擬店が出店し、祭りを盛り上げています。
年度末の3月には、当町会最大のイベントであります「ふれあい広場」を実施しております。

毎年、石川酒造(株)の駐車場をお借りして福生消防署熊川出張所、福生市消防団第一分団にご協力をいただき、地震体験(起震車による体験訓練)、初期消火訓練(消火器の使い方等)を行っております。それぞれの訓練で防災に関する技術や知識を習得し、自主防災の意識を高めています。

また、行事案内として昔懐かしい「ちんどん屋」が町内を回ります。



防災訓練終了後は青少年育成会南地区との合同懇親会を開催し、模擬店を出店してビンゴゲームを行いました。
この行事には毎年150名以上の方が参加しております。

当町会はこのような行事を行いながら、地域一体となり交流、親睦を深め、参加してよかったと言われるような、楽しく元氣な町会を目指しています。

ちんどん屋

鍋二町会の 名物行事

「長寿を祝う会」

鍋ヶ谷戸第二町会

上村 喬

鍋二町会では、毎年11月に70歳以上の会員をお招きして「長寿を祝う会」を開催しています。

昨年で第24回を数える文字通りの長寿行事で、鍋二町会が誇る伝統の名物行事です。

70歳以上の会員お一人お一人に招待状を手渡ししているため、日頃、外出機会の少ないご高齢の方の身近な安否確認にもなり、また、



核家族化が進み、三世代間のふれあいが少なくなっている今日、「長寿を祝う会」を催す意義はますます大きくなっています。

当日は、地域の有志のご協力を得て、お祭り囃子の演奏、ウクレレ演奏、大正琴の演奏、日本舞踊、フラダンスなど多彩な催し物を披露、特に演奏に合わせて「ふるさと」「もみじ」などの小学唱歌を全員で合唱するときは、身震いするほどの感動を覚えます。その他、福引き、ビンゴゲームなどで歳を感じさせない歓声や笑い声で一杯です。

会が終わった後、名残惜しそうなご高齢の女性から

『会長さんよ。今日はとても楽しかったよ。みんなも喜んだんべえ。おれ(私)も90(歳)を超えたけどよ、来年、来れるかどうかもわかんねえけどよ、また、呼んでくれな。』

と熊川弁丸出しの言葉をかけていただきました。『もちろんですよ。来年も必ず、来て下さいね。約束ですよ。』、このような会話の積み重ねが、町会活動を支えて行くのだと確信しています。

～ 皆様の旅のお手伝い ～

福生市民契約保養施設取扱旅行社

東京都知事登録旅行業第3-2331 全国旅行業協会会員

有限会社 **ダイナ旅行**

(住所) 197-0004 東京都福生市南田園2-14-29

電話 **042(553)3310** FAX **042(553)3392**

(取扱業種) 国内旅行・海外旅行・航空券・JR券・船舶券 等々
個人旅行から団体旅行まで...電話一本にて全ておまかせ下さい

地域活動実践講座 自治会・町内会を考える

1月30日(金)に日本青年館(新宿区)で開催された地域活動実践講座(公益財団法人あしたの日本

を創る協会主催)に福生市町会長協議会から2名の会長が参加しました。講座の内容は、

①「自治会・町内会の抱える現代的な悩み」

講師 名和田是彦氏

(法政大学教授)

自治会・町内会が抱える大きな悩みは加入率の低下で、この問題は一部の地域だけでなく全国的にみられるとのことでした。もともと地域差があったのですが、今世紀に入ると、どの地域も一様に低下が進んでおり、加入率低下の新局面を迎えているそうです。

加入率の低下が起す問題としては、全員が会員であれば自治会・町内会の議決や規約が地域社会のルールになるが、会員が減少すると地域のルールにならなくなる

非会員への対応などがあがっていました。

低下の原因としては、世帯規模の縮小、一人暮らしの高齢者の増加、若年層の未加入などがあげられ、以前のように、町会・自治会に入るのが当たり前という「自動加入文化」が崩れているようです。

加入率向上の対策としては、即効性のあるものはないようで、地道な加入勧奨が必要ではないかとのことでした。

②「どうする?」

加入率、役員選出方法等

講師 井上晴彦氏

(横浜市都筑区ふれあいの丘連合自治会会長、高山自治会会長)

井上氏が会長を引き受けた高山自治会は、若い人が圧倒的に多いところでした。男性は仕事があるため、役員のほとんどが女性という状況。そこで、若い女性が主体の「輪番制役員構成」でも活動ができるように考え、たどり着いたの

が「実態に合わせた自治会運営」でした。現状で活動がしやすいように、規約を変えてきたそうです。何年か経つと、会長以外役員が一年で交代するという弱点が、「役員経験者が組織の3割を占める」という、大きな財産に変わったと話されたことが、とても印象に残りました。

そんな高山自治会でも、加入率低下の問題は起こっており、平成19年頃から加入の呼びかけが結果に結びつかなくなってきたそうです。

真剣に丁寧に自治会活動を進めることで加入率アップが実現できるのか、自治会・町内会はどのような組織形態にすることが望ましいのか、今後の検討課題として取り組んでいく時期に来ているのではないかとのことでした。



平成27年3月

編集委員長

編集委員

上野 雅弘

井梅 泰雄

清水 誠二

春日 廣信

石垣 幸嗣

石垣 幸嗣

西多摩地区自治会・町内会連合会長会 定例研修会

2月26日(木)に檜原村役場で西多摩地区自治会・町内会連合会長会主催の研修会が行われ、福生市町会長協議会からも5名の会長が参加しました。

研修会では岡崎昌之氏(法政大学現代福祉学部教授)による「地域社会を巡る新しい課題と地域リーダー」というテーマで講演が行われました。

人口減少が進む中、地域「協働」の必要性、高齢者資源の活用など、これからの地域リーダーに求められていることがわかりました。



研修会の様子